

平成27年度 日野市立平山小学校経営重点計画				自己評価シート		平成27年4月公表
★学校教育目標				○確かな学力 ○豊かな心 ○たくましい体		★重点計画の概要 【平山小学校のキーワード】 歴史・伝統への感謝と未来への希望 『4Ts: Thanks(感謝) Tradition(伝統) Try(挑戦) Technology(科学技術)』 ◆文部科学省 研究開発学校3年目として、子供たちが自立した人間として、他者と協働しながら、未来を生き抜いていけるように、6つの実践力(①自然の恵みを大切に ②命を大切に ③人を助ける ④ともに生きる ⑤防災に努める ⑥安全な社会をつくる)を育む「生きぬく科」のカリキュラムを開発、完成する。 ◆一人一台のタブレット端末配備の「総務省のICT絆プロジェクト対象校」として4年。さらに企業の支援を受け、(東芝タブレット提供・Microsoft Showcase School)最高のICT環境を、最大の学びの場としていく。具体的には、ICTを「多様な子どもの可能性を最大限に伸ばし、主体性を育むツール」として活用する。これにより、必要な知識を身に付け自ら課題を見付け、解決するという新たな学びを通して、思考力、判断力、表現力や、主体性をもって多様な人々と協働する態度などを身に付ける。 ◆「平山季重まつり10周年記念」や平山中地区育成会行事など、地域の行事等には積極的に参加する。これにより、今後も、地域の核となる「コミュニティ・スクール」として、地域とともに、未来の担い手となる子供たちを育てていく。特に、地域・家庭と連携して、子供たちの生きる力の基盤となる基本的な生活習慣の素地を培う。
★目指す学校像（ビジョン）						
【めざす児童・生徒像】						
◆よく考え、表現し、いろいろな考えを知って新しい知恵を創造するひらやまっ子 ◆感謝の気持ちと真心をもって、進んで人のために行動できるひらやまっ子 ◆よく食べ、よく運動し、困難にも負けずに生き抜こうとするひらやまっ子						
【めざす学校像】						
◆笑顔とありがとうのあふれる元気な学校 「生き抜く力」「協働的に問題を解決していく力」「主体的・創造的に行動する態度」の育成						
【めざす教師像】						
◆常に明るい笑顔で、未来に生きる子どもたちの力を最大限に伸ばそうと前向きに挑戦する教師 ◆一人一人が分掌のリーダー、フォロワーになり、チーム力で学校を創っていく教師 ◆コミュニティ・スクールの一員として、保護者・地域の方と一緒に、子供たちの力を育むために連携を図っていく教師						

領域	中期経営目標	短期経営目標	具体的方策	評価指標・評価基準	
				取組指標	成果指標
子供	自ら課題を発見し、考え、判断し、よりよく解決する確かな学力の育成 (第2次日野市学校教育基本構想 基本方針1)	知識や技能を活用して、自ら課題を発見し、その解決に向けて探究し成果を表現する力や、主体性をもち、多様な人々と協働しつつ学習していく態度を育てる	児童主体の協働学習・問題解決学習を、スタディノートやスタディネットを活用して学期に2回以上実施する。(単なる発表ではなく、子ども同士の意見交換を充実させ、アクティブ・ラーニングを目指す。)	4 スタディノート、スタディネットを活用した協働学習・問題解決学習を学期に2回以上実施した教員が100%	4 アンケートから主体的・創造的な学習に取り組むことができたと答えた児童が90%
				3 スタディノート、スタディネットを活用した協働学習・問題解決学習を学期に2回以上実施した教員が90%	3 アンケートから主体的・創造的な学習に取り組むことができたと答えた児童が80%
				2 スタディノート、スタディネットを活用した協働学習・問題解決学習を学期に2回以上実施した教員が80%	2 アンケートから主体的・創造的な学習に取り組むことができたと答えた児童が70%
				1 スタディノート、スタディネットを活用した協働学習・問題解決学習を学期に2回以上実施した教員が70%	1 アンケートから主体的・創造的な学習に取り組むことができたと答えた児童が70%未満
子供	たくましく生きるための健康・安全や体力の育成 (第2次日野市学校教育基本構想 基本方針1)	健康で幸せな生涯を送るために体力の向上を図る。	「走」・「跳」・「投」の力を付けるために、体育の授業以外にも、週2回の「パワーアップタイム」において、全校で時期ごとに重点取組(大縄・マラソン等)を行う。	4 パワーアップタイムの取組を行った教員が100%	4 秋の体力測定の結果(学年平均)が、春の結果を上回った学年が7学年
				3 パワーアップタイムの取組を行った教員が90%	3 秋の体力測定の結果(学年平均)が、春の結果を上回った学年が6学年
				2 パワーアップタイムの取組を行った教員が80%	2 秋の体力測定の結果(学年平均)が、春の結果を上回った学年が5学年
				1 パワーアップタイムの取組を行った教員が70%	1 秋の体力測定の結果(学年平均)が、春の結果を上回った学年が4学年
教師	次代をつくる特色ある学校づくりと魅力ある学級・授業のデザイン (第2次日野市学校教育基本構想 基本方針2)	教員同士の学び合いを通して相互研鑽することで、授業力や専門性を高める。	研究開発学校として、「生きぬく科」の実践を進めながら、最終年度の前に、カリキュラムを完成させる。	4 「生きぬく科」のカリキュラムを完成させた学年が7学年	4 「生きぬく科」で身に付けたい実践力について、自分の行動に変化があったと答えた児童の割合が90%
				3 「生きぬく科」のカリキュラムを完成させた学年が6学年	3 「生きぬく科」で身に付けたい実践力について、自分の行動に変化があったと答えた児童の割合が80%
				2 「生きぬく科」のカリキュラムを完成させた学年が5学年	2 「生きぬく科」で身に付けたい実践力について、自分の行動に変化があったと答えた児童の割合が70%
				1 「生きぬく科」のカリキュラムを完成させた学年が4学年	1 「生きぬく科」で身に付けたい実践力について、自分の行動に変化があったと答えた児童の割合が60%
学校 家庭 地域 社会	学習・生活習慣の確立と家庭の受容力・教育力の向上 (第2次日野市学校教育基本構想 基本方針3)	家庭との連携を図りながら、学校での基本的な生活習慣を確立する。	キラキラ運動(①あいさつ・返事・ありがとう ②時間を守る ③わすれものをしない ④右がわをしすかに歩く ⑤せいり・せいとん ⑥聞き上手あいいうえお)の6項目を、年間を通して、家庭や地域と連携を図りながら、毎週金曜日に振り返りを行い、指導を徹底する。	4 「キラキラ運動」6項目について指導し、週1回の振り返りをした教員が100%	4 6項目全ての目標を達成できて、銀カードや金カードに進めた児童が80%
				3 「キラキラ運動」6項目について指導し、週1回の振り返りをした教員が90%	3 6項目全ての目標を達成できて、銀カードや金カードに進めた児童が70%
				2 「キラキラ運動」6項目について指導し、週1回の振り返りをした教員が80%	2 6項目全ての目標を達成できて、銀カードや金カードに進めた児童が60%
				1 「キラキラ運動」6項目について指導し、週1回の振り返りをした教員が70%	1 6項目全ての目標を達成できて、銀カードや金カードに進めた児童が50%
学校 家庭 地域 社会	グローバルな視野をもったつながりによる教育 (第2次日野市学校教育基本構想 基本方針3)	挨拶・笑顔のあふれた明るい学校創りを目指す。	来校者(保護者等)、教員、児童は、互いに明るい挨拶をし合う。	4 常に明るい挨拶を心がけた教員が100%	4 保護者・地域への挨拶状況アンケートで、児童ができていると答えた割合が90%
				3 常に明るい挨拶を心がけた教員が90%	3 保護者・地域への挨拶状況アンケートで、児童ができていると答えた割合が80%
				2 常に明るい挨拶を心がけた教員が80%	2 保護者・地域への挨拶状況アンケートで、児童ができていると答えた割合が70%
				1 常に明るい挨拶を心がけた教員が70%	1 保護者・地域への挨拶状況アンケートで、児童ができていると答えた割合が60%

※評価指標・評価基準は、2の段階を現状としています。